

表 水素社会の実現に向けた大連市の取り組みおよび関係機関などの一覧

政策・アクションプラン	1	「大連市水素総合利用モデルプロジェクト」	2020年4月発表	①水素燃料電池自動車の導入を開始する ②水素ステーションを2～3基整備する ③大連の地場の水素燃料電池自動車のコア部品メーカーの集積 ④総合測定・評価プラットフォームの構築
	2	「大連市水素エネルギー産業発展計画」	制定中	水素燃料電池自動車を柱にする水素産業を「第14次5カ年国民経済発展計画」に記載する予定。
企業	1	一汽客車(大連) 有限公司	1987年12月設立	2008年から新エネルギーの研究開発に向けた取り組みを開始し、現在電動車と水素バスを主力製品としている。
	2	大連新源動力股份有限公司	2001年4月設立	自社で研究開発したプロトン交換膜の燃料電池スタックモジュールを既に多数の大型バスの車種に搭載し、走行実証を行った。
	3	洺源科技(大連) 有限公司	2016年5月設立	パワーシステムとコントロールシステムを提供するシステムインテグレーターで、製品は大型物流輸送車、大型バス、乗用車と船舶にも応用できる。
研究所		中国科学院大連化学物理研究所	1949年3月設立	最も早く燃料電池研究開発に取り組んだ研究所であり、2020年に実施したイノベーション研究機関ランキングにおいて、第1位に選ばれた。
測定センター		水素エネルギー設備測定センター	2019年4月設立	長城汽車と大連鍋炉圧力容器検査測定研究院が共同で設立。
オープンイノベーションプラットフォーム		遼寧省ファインケミカルジェネリックテクノロジーイノベーションプラットフォーム	2017年11月設立	大連長興島経済開発区で稼働し、大連理工大学と遼寧省ファインケミカル技術センターの人材を活用しながら、エネルギー分野のオープンイノベーションを促進する。
人材育成	1	大連理工大学	1948年12月創立	2005年にエネルギー・環境研究所を新規設立し、新エネルギー、リサイクルエネルギー、省エネ・環境保護に関する研究と複合型人材の育成を行う。
	2	中国科学院大学エネルギー学院	2018年1月設立	エネルギー産業におけるイノベーション創出を担う人材を育成する。

(出所) 各種情報を基にジェトロ大連事務所作成